

付 属 資 料

資料1 TELEDOCの将来計画

テレドック（TELEDOC）は、A.ゴメス局長が中心となって、来年度（1988年）以降の3カ年計画を番組編成、要員、予算など総合的に立案すべく、着々と準備を進めていた。

今回の長期調査チームが、チリを訪問した時点では、3カ年の編成計画は、かなり煮詰まっているが、要員計画と予算計画については、なお計画立案の途上との印象を受けた。

以下は、1987年11月時点でのテレドックの将来計画の案描である。

1. 番組の拡充と編成計画

テレドックが現在、制作・放送している教育番組の時間量は1週間に180分である。

土曜日の午前9時から90分の番組を放送し、日曜日の同じ時間にそれを再放送するという編成をとっており、合わせて週に180分放送していることになる。

テレドックの将来計画では、来年度（1988年）以来、3カ年で段階的に780分まで、教育番組を拡充することになる。その内訳は、現行の13chの時刻表の午前の空時間帯を利用して、月曜日から金曜日まで、午前7時30分から9時30分までの2時間の時間帯に、新しく開発する番組を編成しようというものである。計算上では、 $120分 \times 5日 = 600分$ 増で、現行（180分）+増加分（600分）= 780分となる。

但し、600分の全てを新作するわけではない。新作は200分で、3回リピートすることで、600分増を目指している。初年度は、まず、水曜日の午前7時30分から9時30分の時間枠に新作番組を編成する意向である。そして、2年度、3年度と段階的に、時間増を図っていくというのである。

また、外国からの番組輸入も全体の30%程度考えており、今のところ、英国から「英語番組」の素材を購入することを予定している。それ以外は、現在のところ白紙であり、テレドックの力量がつけば、将来は日本も含めて、外国の放送機関との番組交換を行い、編成上のバラエティをもちたいとのことであった。

以上、番組の量的拡大と並行して、質の向上をめざしている。この点で、テレドックが、今回のプロジェクトに於ける日本への期待は大きい。つまり、日本が制作した教育番組を教材として、多様な教育番組のさまざまなノウハウを積極的に吸収し、テレドックの教育番組の質の向上をめざしている。また、新しい番組の開発に当っては、調査・研究分野とも密接に連携しつつ、視聴者の意向調査等の結果を踏まえて、科学的なデータをもとに展開したいとのことであり、日本の教育番組を、調査・研究の際の資料としても参考にしたいとのことであった。

また、日本から供与を予定している、中継車、編集システム、コンピュータ・グラフィックスなどの機材を駆使して多彩な映像展開を図り、教育番組の質の向上をめざすべく制作技術の面か

らも日本チームに大きな期待を寄せている。

2. 登録学生数、テキスト（教材）の拡充計画

テレドックの教育番組は、大きく分類すると現在、2種類ある。

1つは、「クルソ」と呼ばれ、大学レベルの単位を取得させる純教育番組。

もう1つは、「シクロ」と呼ばれる、単位取得に関係がない一般教養番組である。

このうちの「クルソ」は、5～7月、8～11月の2期制で、1期12週の視聴とテストで1単位が取得できる。1期2課目、年間4課目放送している。現在、「クルソ」に登録している学生は、3,000～5,000人で、経費は、テキスト（教材）代と実習費が必要で、全国9カ所に教材販売と実習・テストのためのセンターが設けられている（登録する課目により、若干の幅があり、テキスト代と実習費を合わせておよそ8,000～10,000ペソとのことであった。1 US \$ ≒ 230ペソ）。

テレドックの将来計画によると、登録学生数を現行の3,000～5,000人から3カ年で30,000～50,000人に増やす意向である。そのための具体的施策としては、テレドックは教育省とタイアップして、テレビ番組を教員の資格の向上に結びつけることを検討している。つまり、現在、教員の再訓練と資格向上は、チリの12の州に設けられている、12の教員訓練センターで行われているが、教育省の翼下にあるこの教員訓練センターとタイアップして、テレドックの教育番組を、教員が学校で子どもと共に視聴し、教員訓練センターでテストを受けることで従来と同等の資格が得られるようにしようという構想である。

この構想は、教育省との間で、真剣に検討されており、我々がチリを訪問したときは、最終の煮詰めの段階に入っており、近くテレドックと教育省の間で、具体的な契約にこぎつける見通しがついたとのことであった。

新しい教育番組の拡充による、新たな登録学生の獲得と合わせて、この教員対象の訓練構想は、テレドックの登録学生増を推進する現実的な方策として、注目すべきものがある。今後の展開を期待したい。

3. 予算計画

今回の長期調査の中で、テレドックが最も苦慮しているのは、予算計画の立案であるようにうかがえた。チリの経済は、ここ数年、安定してきたとはいえ、毎年の経済の変動はなお大きいものがあり、長期にわたる経済予測は、きわめて困難であることが、テレドックの予算計画をむずかしくしている理由である。ゴメス局長は、「チリは英国や日本のように、長期の計画、とりわけ長期の予算計画を立てることは、きわめてむずかしい国である。このことを是非、理解してほしい」と、苦渋の表情で、くり返し説明した。しかし、我々は、そうした事情を理解した上で、なお、予算計画の提出を求めたところ、我々に示されたのが、以下の数字である。

全体の予算見込み（初年度分）

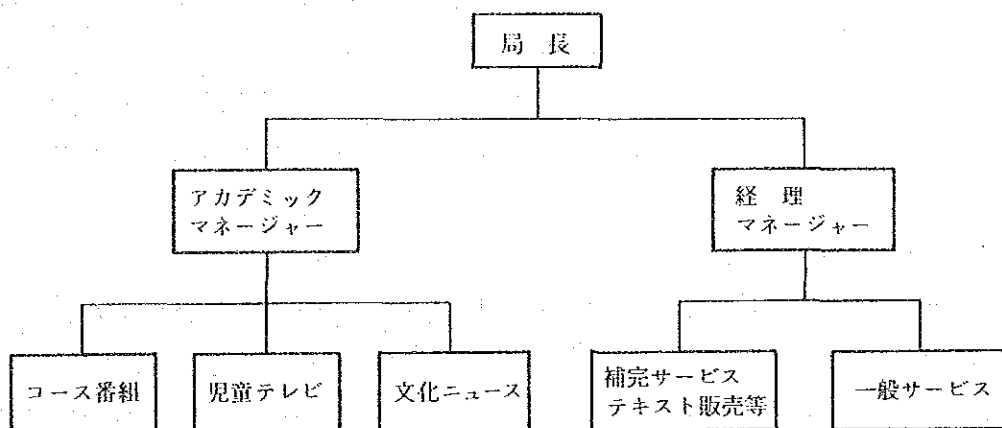
収入項目	チリペソ	(USドル)
大学からの援助	16,000,000	(66,667)
テレドック自身の収入	69,000,000	(287,500)
テレビ局からの援助	1,600,000	(6,600)
その他の収入	60,000,000	(250,000)
合計	146,000,000	(610,767)

この数字は、ゴメス局長自身が説明するように、3カ年の拡充計画を実現するための、初年度予算のきわめて、大まかな概算である。

なお、この数字が示された後に、初年度の番組制作費に対し、教育省から低利の融資が決定されたことを付記しておく。

4. 要員計画

現在のテレドックの組織は、

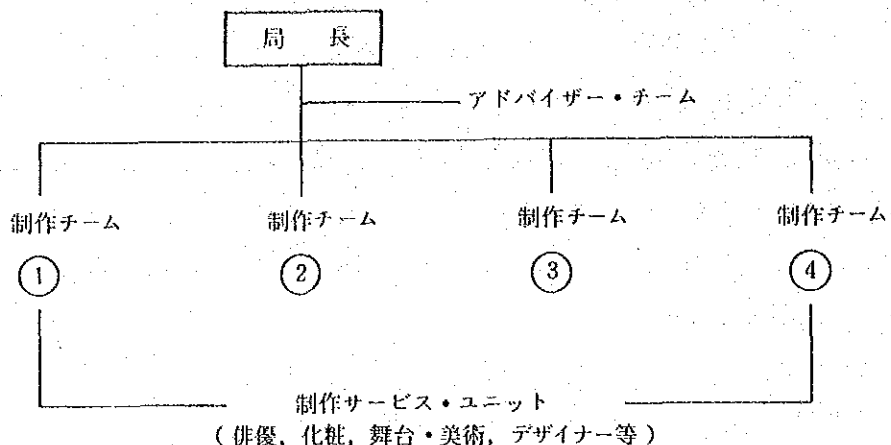


となっているが、前述したようにテレドックが担当しているのは、企画段階（台本作成を含む）までであり、実際の制作・演出（美術セット、メーキャップなどを含む）は、TVuc が担当している。従って、制作・演出段階で、テレドックが企画した意図とは、かなり変更される部分が少なくない。実は、従来、テレドック側の不満も、この企画と制作の分離に起因していたことは確かである。「何とか、テレドック自身が、自前の制作チームを持ちたい」、これがテレドックの長年の夢であった。

今回、我々に示された要員の将来計画によると、テレドックの長年の夢の実現に向けての構想が盛り込まれている。まず、3カ年計画の初年度に、自前の制作チームを2チーム発足させる。チーム構成は、ディレクター1名、プロデューサー1名、アシスタント1名の3名。従って、3名×2チーム＝6名の制作チームをテレドックの中に新たに発足させる。2つのチームは、良い

意味での競合をしつつ、新しい番組の制作に当る。制作チームは、3年間に順次増やしていき、最終年度には、4チームを編成する。この他の要員として、台本を担当するアドバイザーや、美術デザイナー、化粧スタッフなどは、TVuc と従来どおり共用とする。

以上を図示すると、



但し、要員計画については、上記の要員体制の構想がかたまってきた段階で、要員の氏名の特定については、テレドックとTVucとの間で、なお折衝中であった。

このプロジェクトの日本人専門家のカウンターパートを早期に特定する必要から、3～4名の候補者が上がっているものの、我々がチリに滞在期間中、専任者の特定はなお流動的であった。

5. 新番組開発計画

3年間に開発する新番組については、プロジェクトの発足後、調査・研究分野ともタイアップして、調査に基づく科学的データをもとに開発計画を立案することで合意をみた。こうした前提に立って、我々は、チリを訪問した時点で、あえてテレドック側が持っている原案の提出を求めた。その結果、テレドック側から提出されたのが、以下の計画案である。

(1) 科学と技術に関する番組

(主として、学校の教師、子どもを対象とする)

- 科学の原理の理解
- エコロジーをとおして学習能力、道徳を発展させる
- 数学の原理の理解をとおして、数によるものの見方や考え方を発展させる

(2) 成人のための継続教育に資する番組

(就職に役立つ実用番組を主として開発する)

- 英語講座
- コンピュータの応用
- 広告・市場調査、会計学など

(3) 家庭生活を向上させる番組

- 家計と家具の改善
- 人間関係の心理学
- 老後の設計

などに資する番組の開発。

これらの新番組については、プロジェクト発足後、可及的すみやかに、調査・研究分野のスタッフと協力して、番組の需要・意向調査を実施し、科学的データをもとに、番組の内容、対象等の具体プランを作成し、新番組の制作に踏み出すことになろう。

資料2 TVucの施設、設備の現状

EQUIPMENT FOR TELEDUC STUDIO

Studio size: 300 m²

Studio height: 6 mts.

1. Lighting

1.1 Lighting grid

1.2 Monopoles

1.3 Dimmer bank Strand Century

96 5 KW dimmers

1.4 Power installation

1.5 Lighting equip

2. Video equipment

2.1 Three Ikegami HL-95B, studio version

2.2 Three VINTEN studio tripod and dolly

2.3 Color and B/W picture monitors

2.4 Tektronix 1740 waveform - vector monitor

2.5 JVC KM - 2000 video switcher

2.6 Grass Valley Sync Generator

2.7 Grass Valley VDA - ADA

2.8 Video Patch Panel

2.9 Clear com. intercom system

2.10 BVW-75 Betacam SP Video Recorder

2.11 VO - 9600 U. Matic SP Video Recorder

3.- Audio Equipment

3.1 12 input audio console

3.2 Set of microphones

3.3 Audio patch panel

3.4 Monitoring amplifier and speakers

3.5 Studio amplifier and speakers

3.6 Audio recorder

4.- Racks, furniture and installation material.

E S T U D I O S

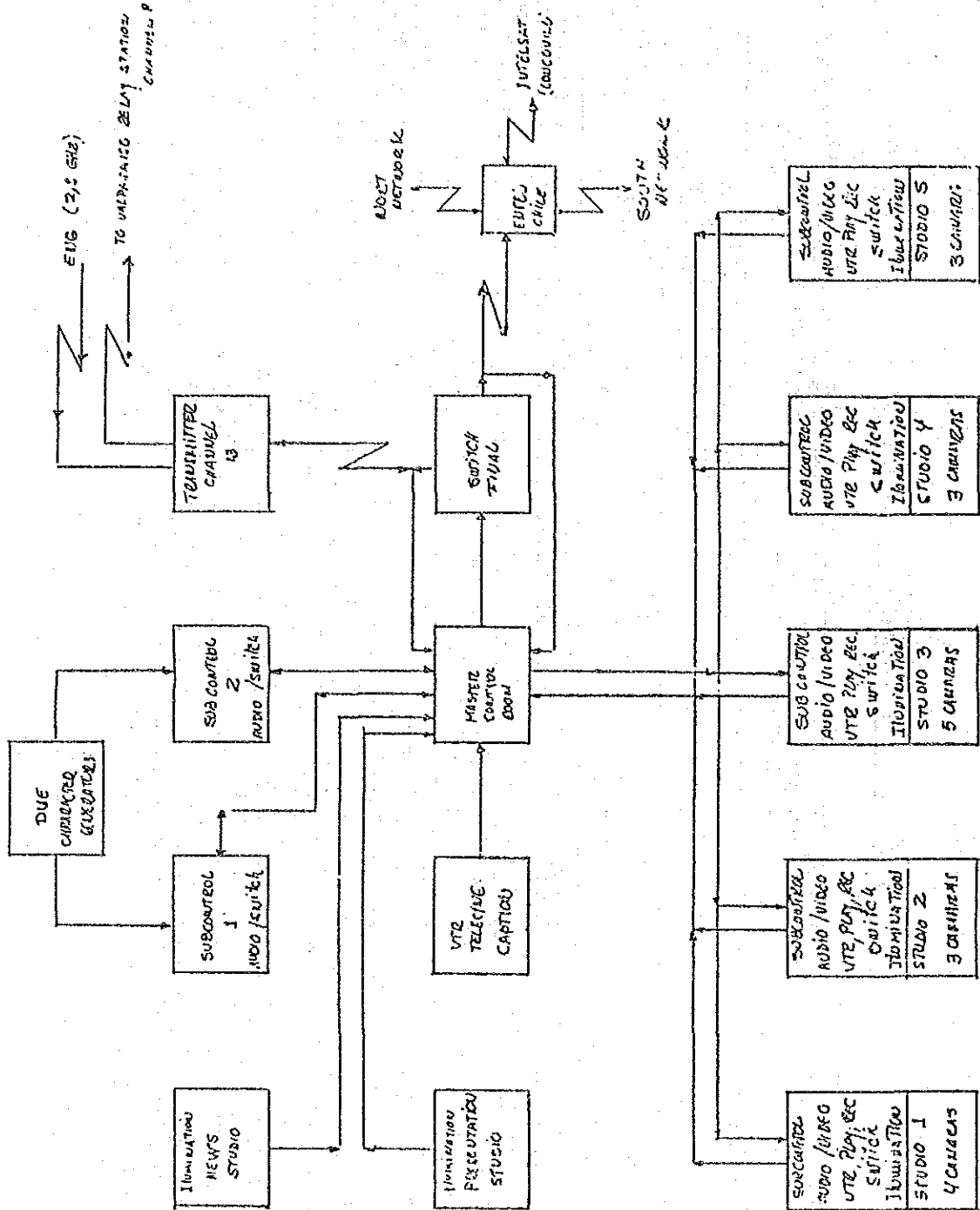
CENTRO DE TELEVISION UNIVERSIDAD CATOLICA DE CHILE

ESTUDIO	SUPERFICIE m ²	ALTURA CICLO-RAMA	Nº DE CAMARAS	DIMERS 5KW c/u	TIPO TRIPLE TELESCOPICA	PARRILLA FIJA	POTENCIA INSTALADA KVA	PRINCIPALES CARACTERISTICAS SALAS CONTROL	USO PRINCIPAL
1	600	9	5	240	0		400	Salas de control, audio - Dirección - Iluminación y video. Grabación y reproducción V. Tape	Musicales con público.
2	600	9	4	252	0		400	Salas de control, audio - Dirección - Iluminación y video. Grabación y reproducción V. Tape	Dramáticos Musicales con Público
3	900	9	5	252	0		550	IDEM.	Musicales con Público.
4	300	5.5	3	96	0		200	IDEM.	TELE EDUCACION
5	400	5.5	3	96	0		200	IDEM.	DRAMATICOS
PRENSA	200	5.5	3	48		0	90	Sala control Audio - Dirección V. Tape y Video en Control Central	NOTICIAS Programas Depto. Prensa
CONTINUIDAD	77	5.5	3	36		0	60	Sala control Audio - Dirección V. Tape y Video en Control Central	CONTINUIDAD PRESENTACIONES
AUDIO	200	-	-	-	-	-	-	Grabación 24 pistas	Grabaciones Audio

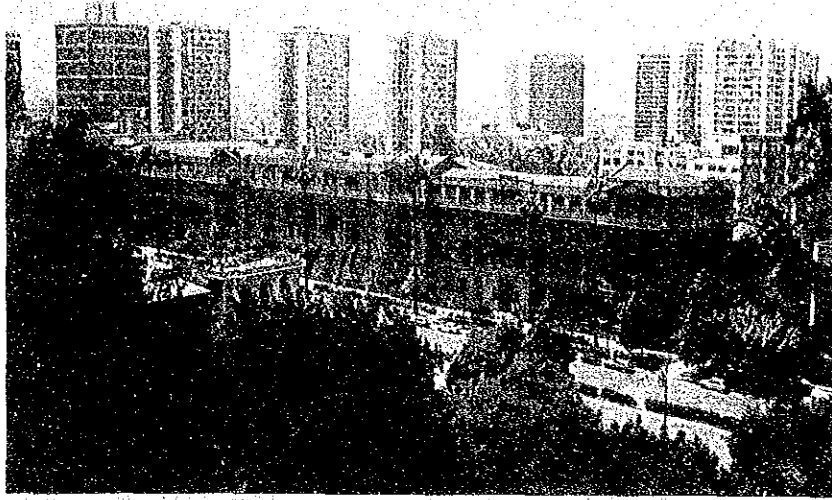
DATOS GENERALES

- Potencia Total Instalada Centro TV: 2.750 KVA.
- Sist. Aire Acondicionado: Unidad Central alimenta todos los Estudios y Oficinas
- Superficie total construidos: 22.000 m² (falta construir 30% del proyecto general).

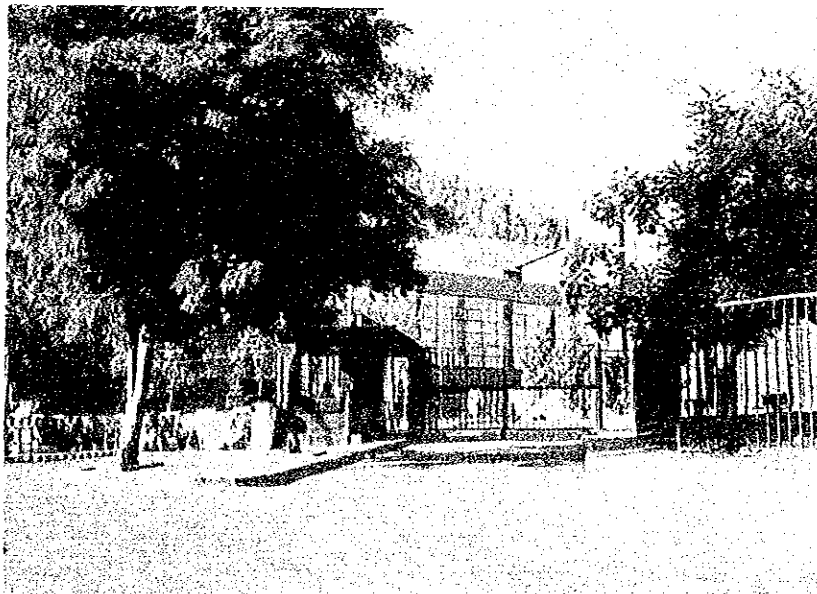
Noviembre, 1987.



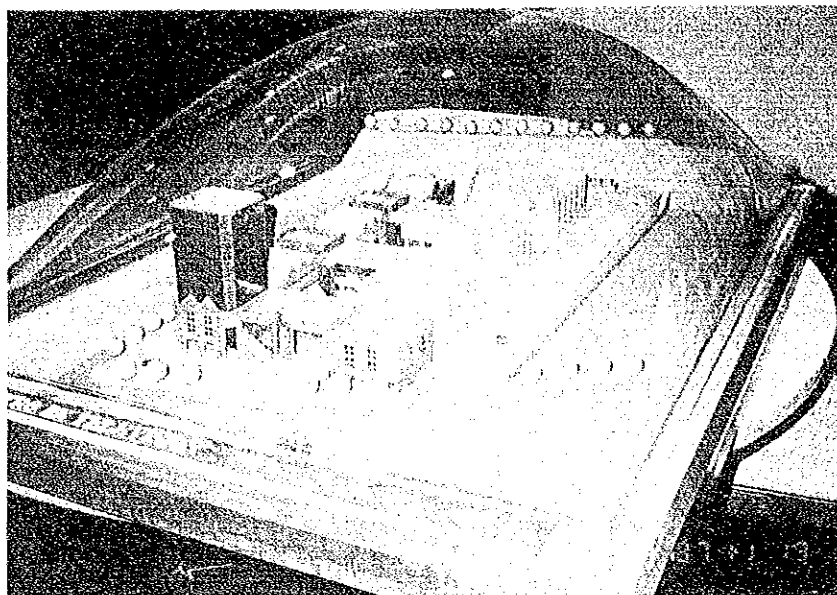
TVucの会館系統図



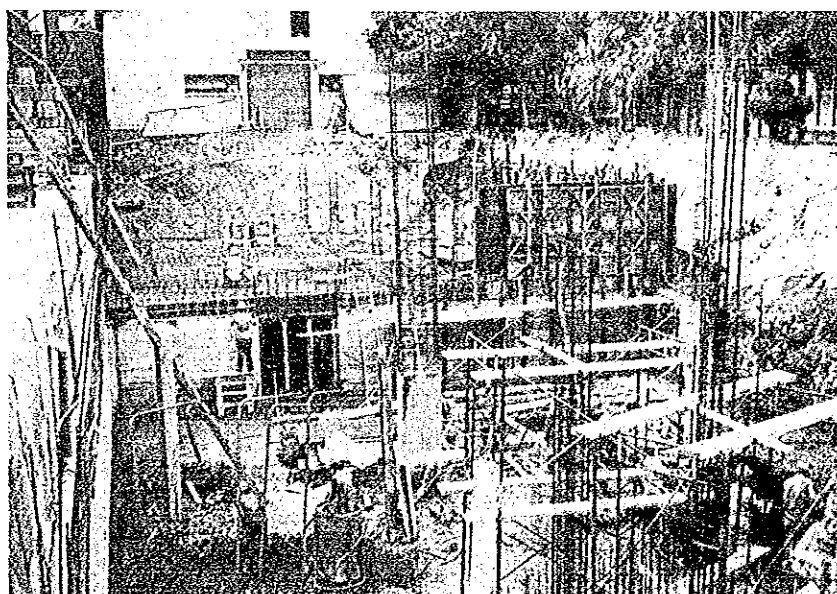
チリ・カトリック大学全景
(サンタ・ルシア丘より)



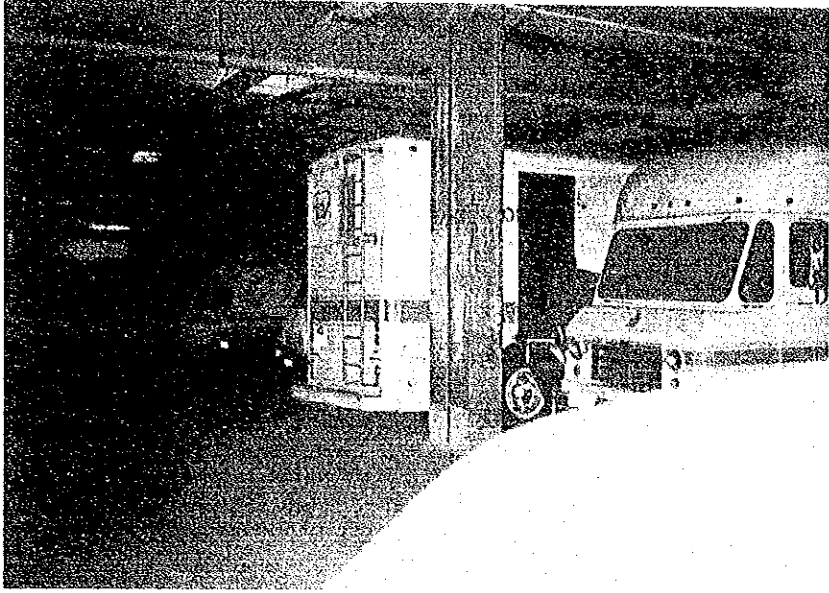
TVuc 放送会館・正面玄関



放送会館完成予定の模型



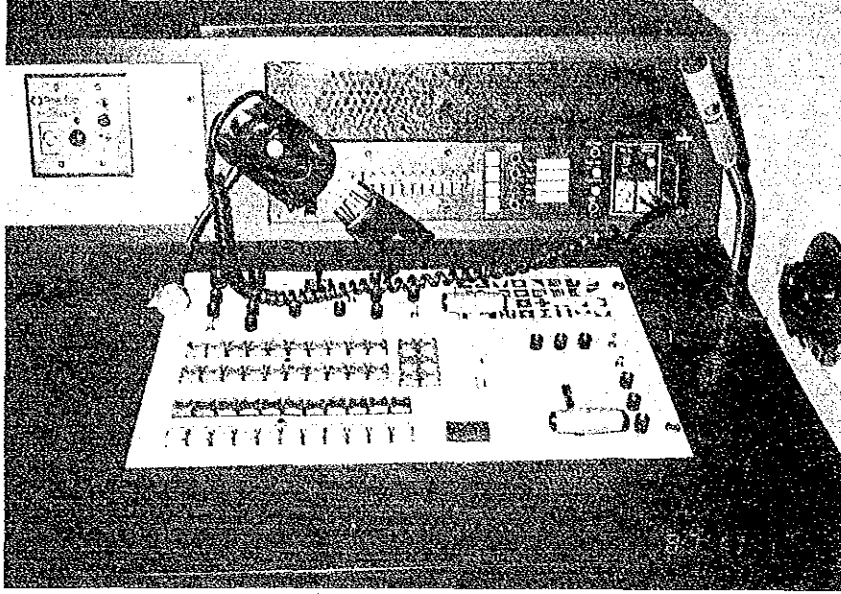
建設中のTELEDUC専用スタジオ



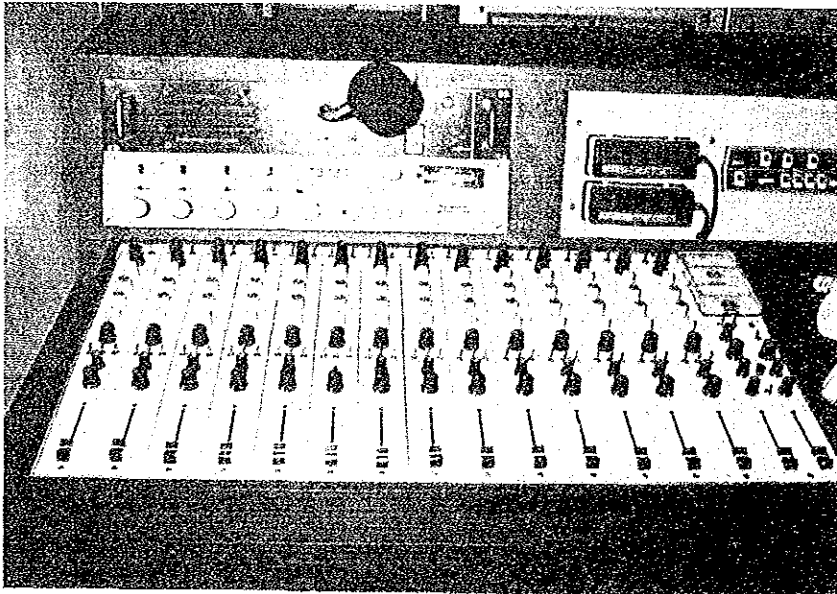
放送会館地下の中継車駐車場



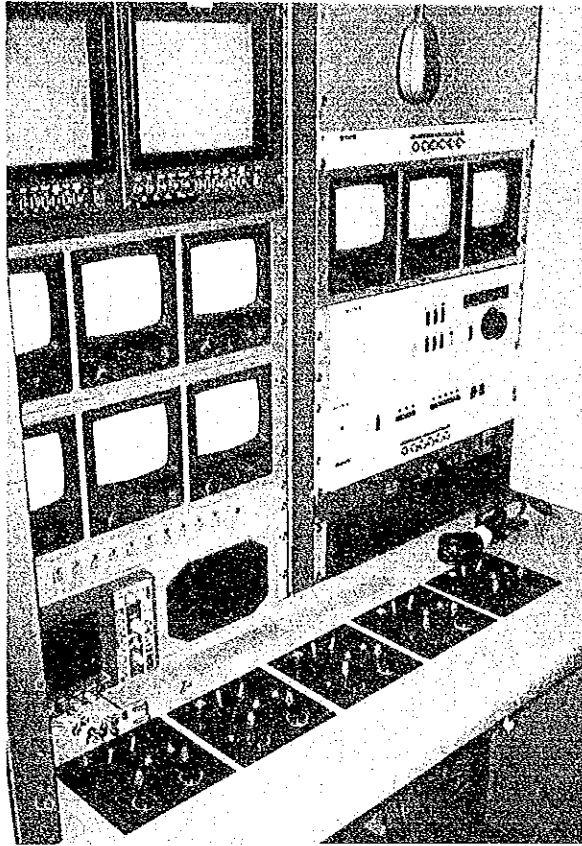
TVuc 所有の中継車



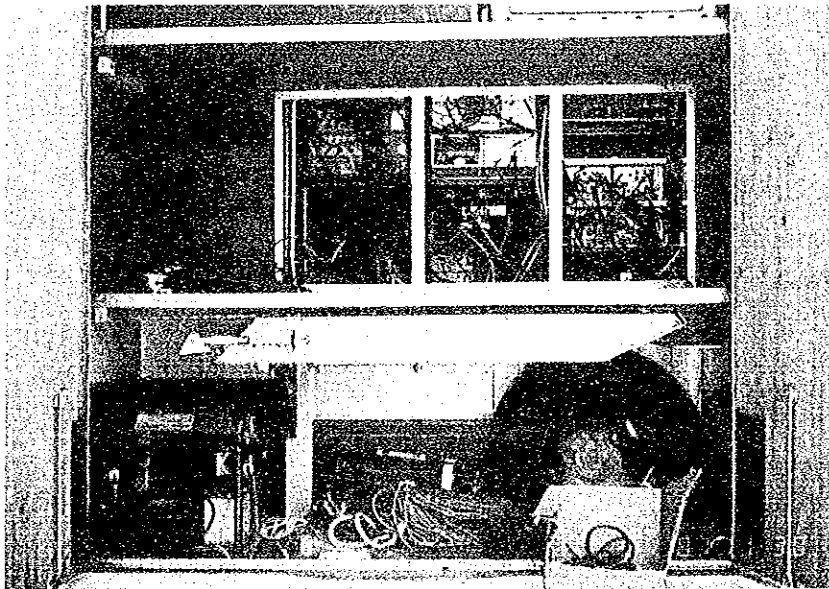
中継車内のスイッチャー卓



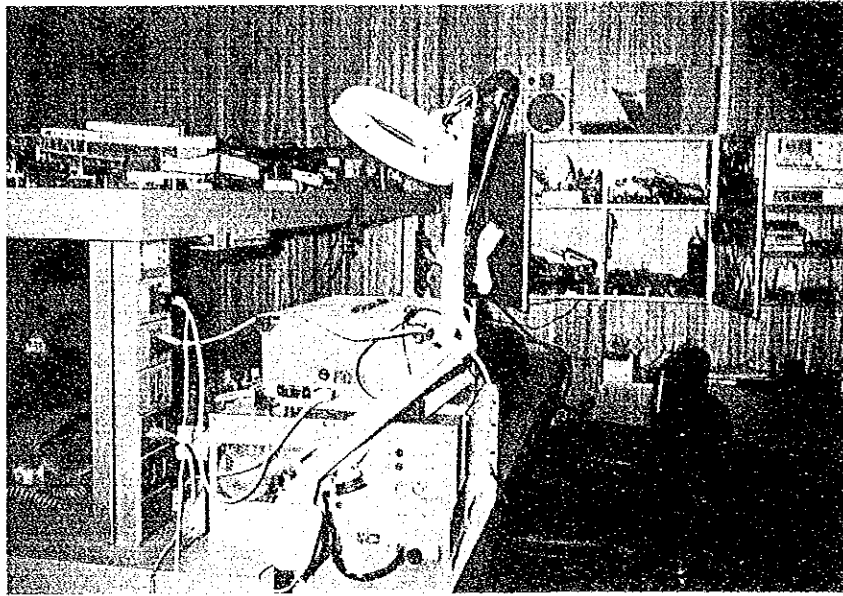
中継車内の音声卓



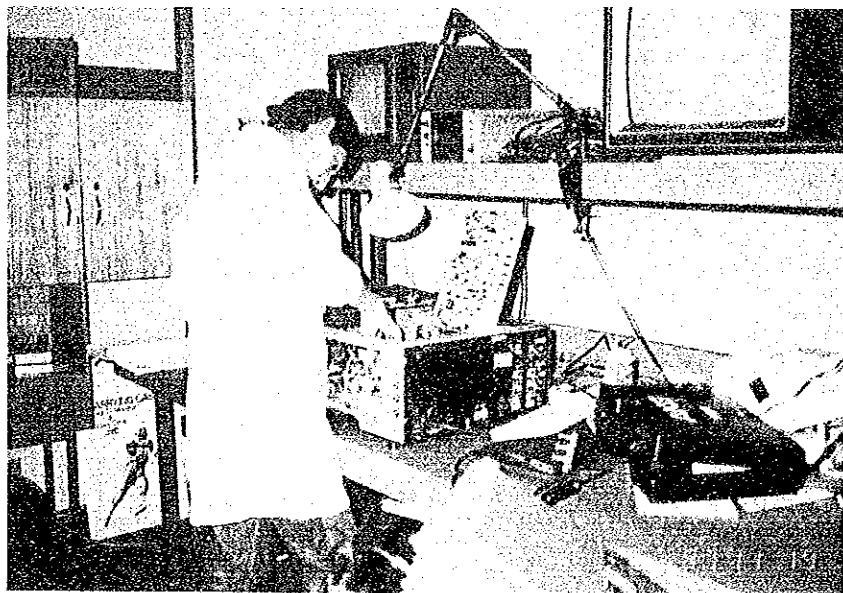
中継車内のカメラ・コントロール卓



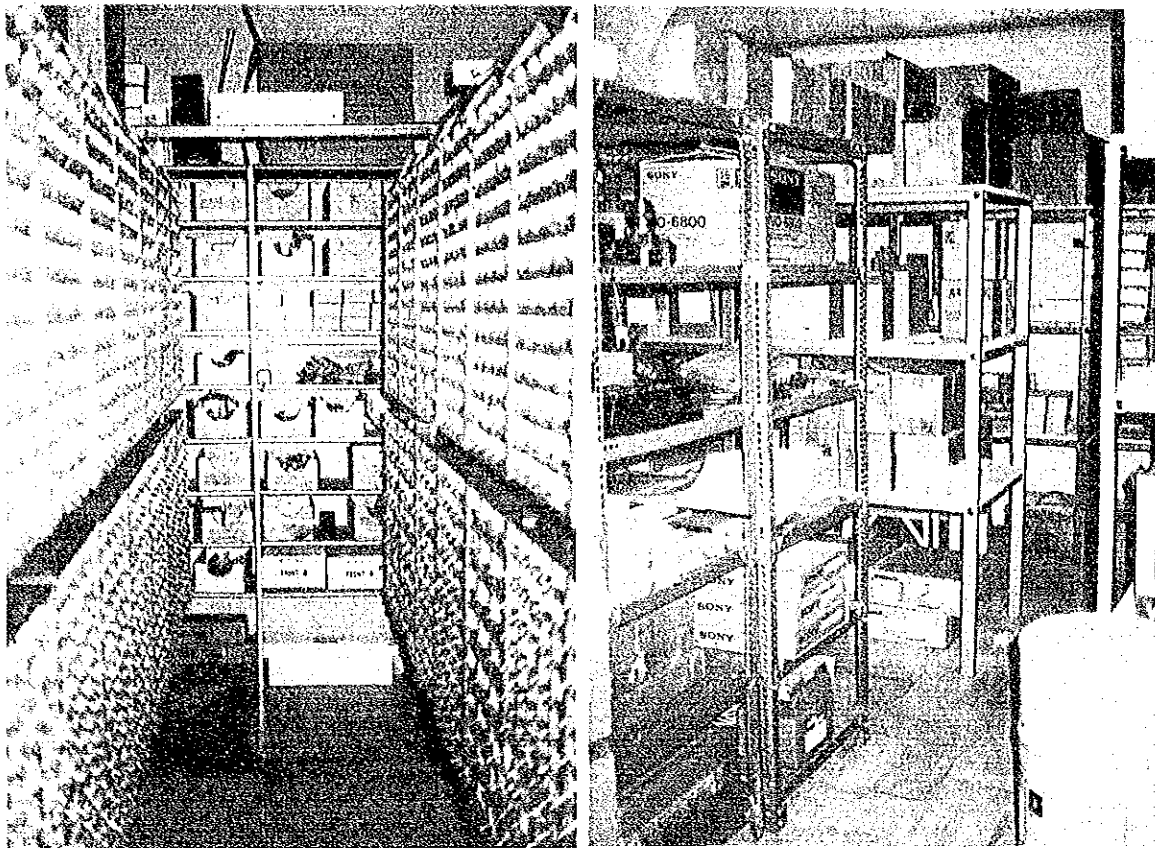
中継車後部の自家発装置



機器整備室



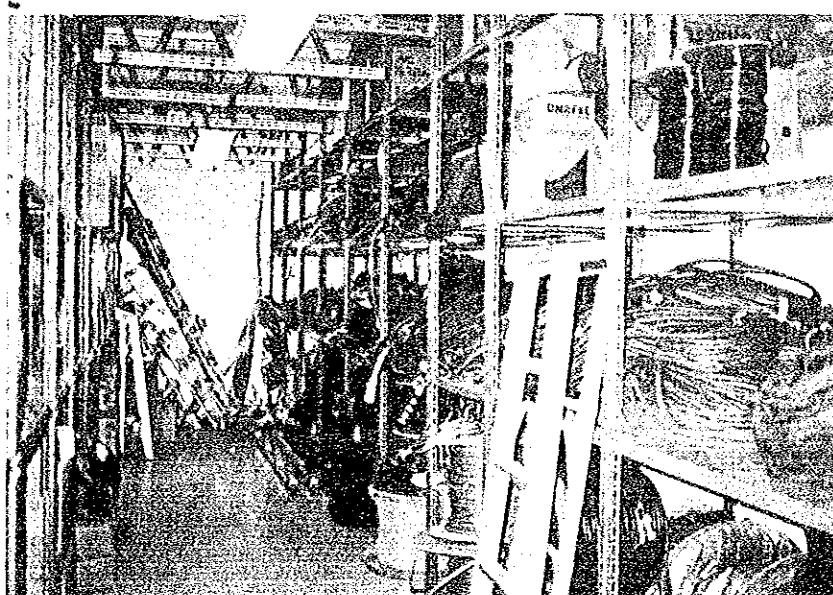
機器整備室



A室（予備パーツ）

B室（予備ユニット）

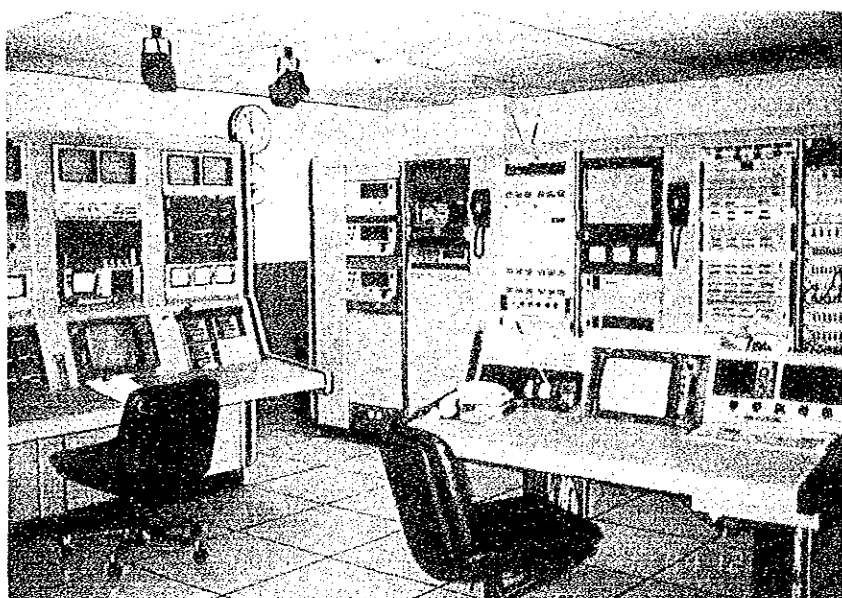
部品管理倉庫



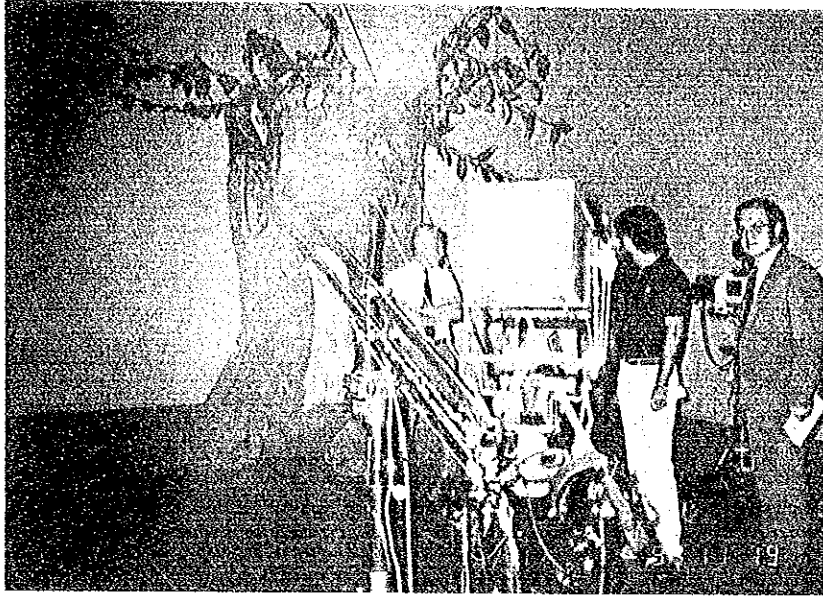
予備機器・ケーブル類の倉庫



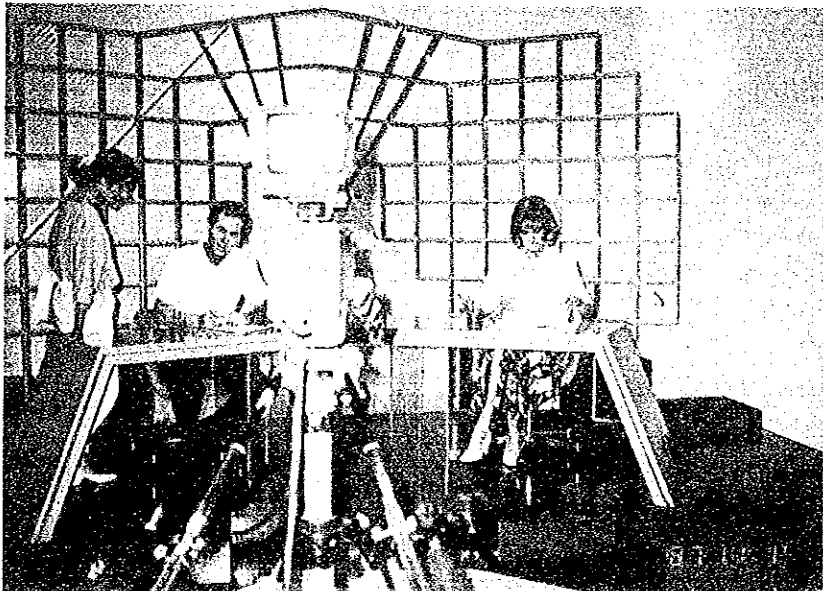
主調整室スイッチャー卓
(番組切り替えは手動で行っている)



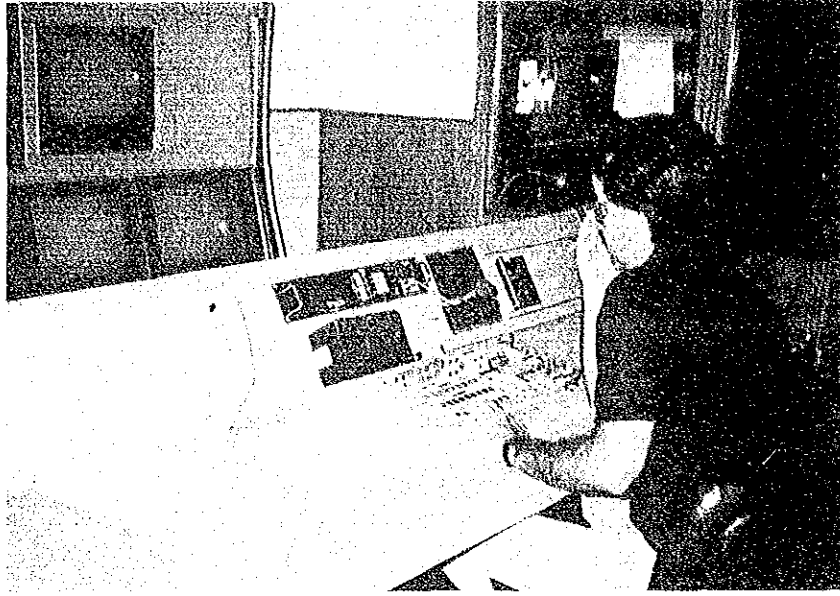
主調整・機器室
ニュース・スタジオのカメラ・コントロール(左)



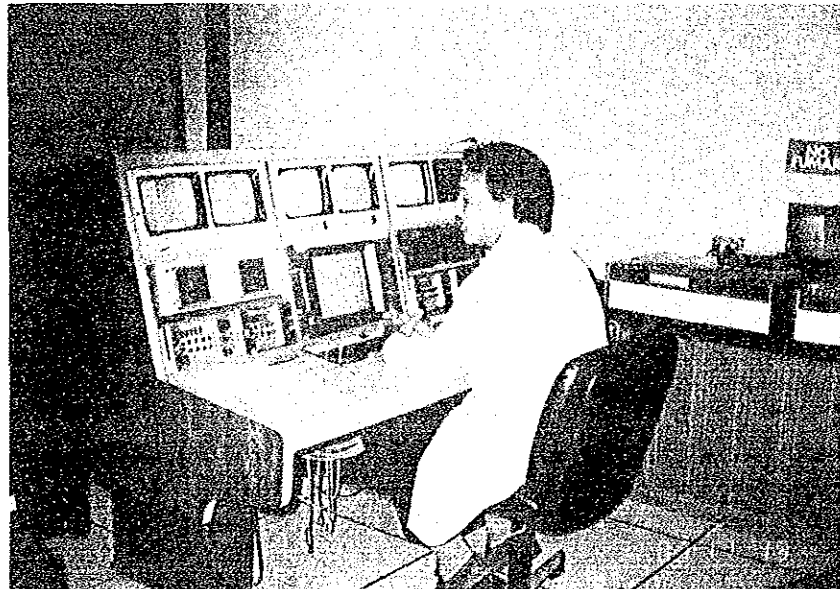
TELEDUCの制作風景1



TELEDUCの制作風景2



スタジオ副調整室スイッチャー卓



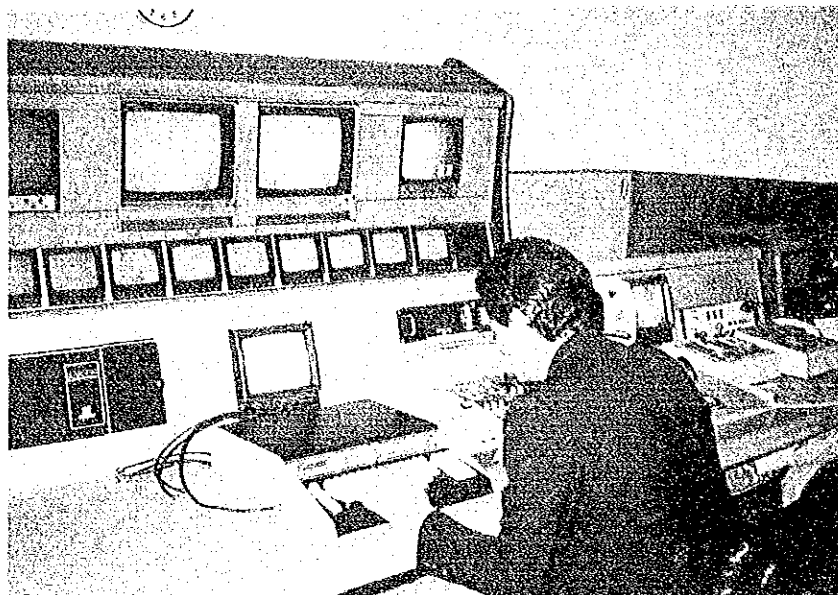
スタジオ副調整室カメラ・コントロール卓



スタジオ副調整室音声卓



スタジオ副調整室照明操作卓



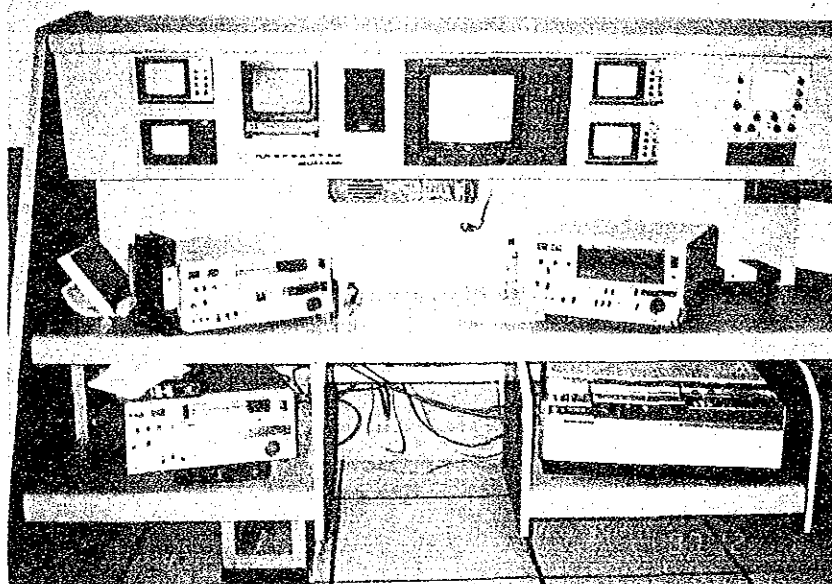
編集・操作卓



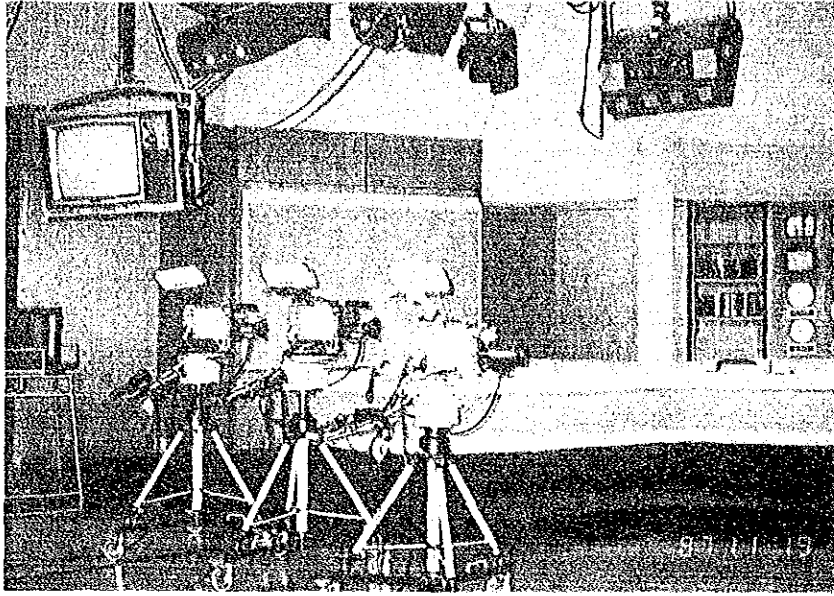
編集用・VTR



編集用・VTR



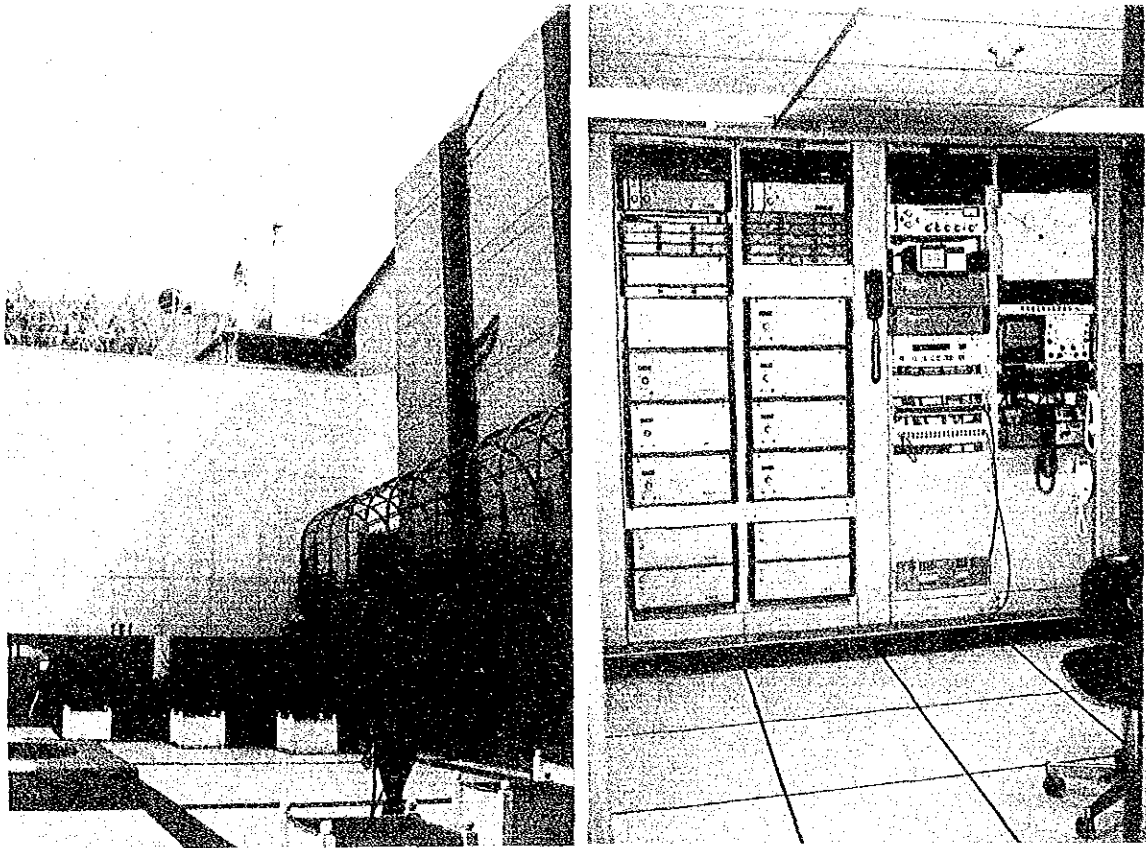
送出用・VTR



ニュース・スタジオ

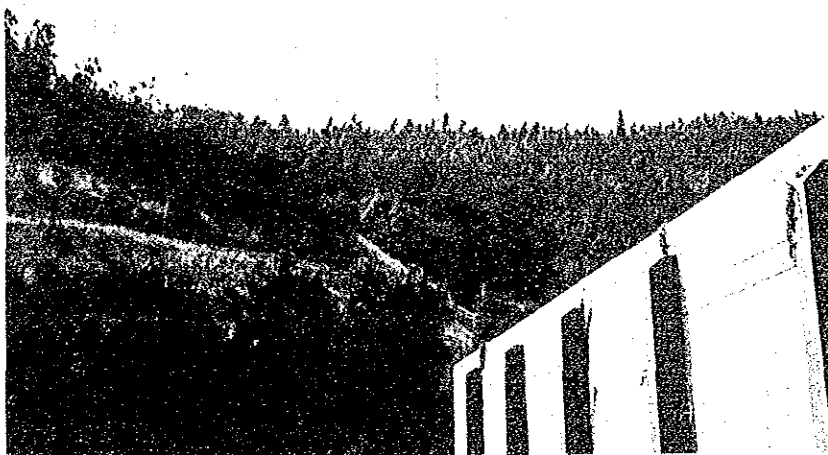


音声専用スタジオの音声卓

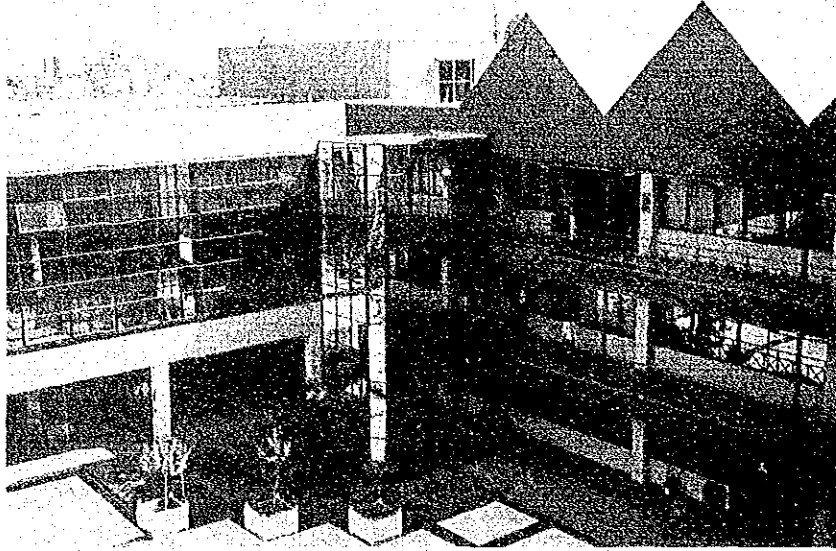


マイクロ・ウエーブ
(TSLとSTL)

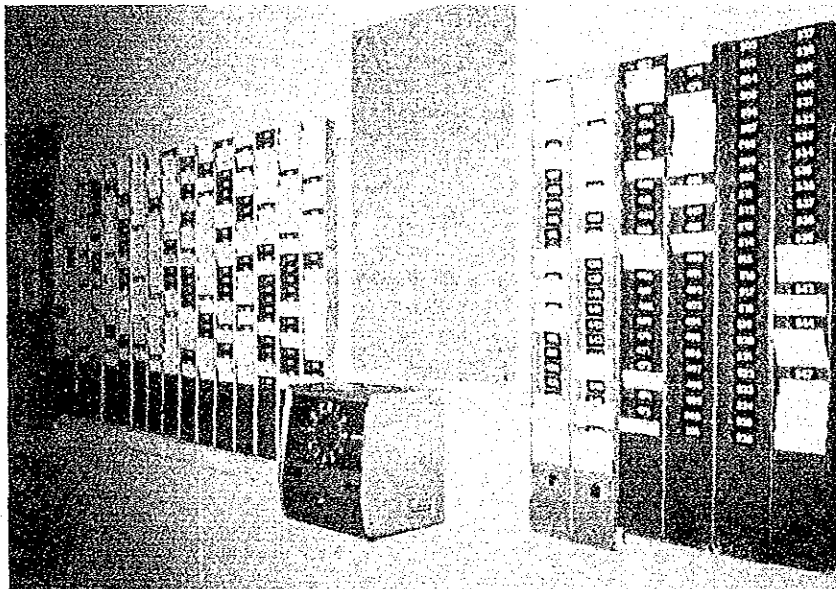
マイクロ・ウエーブ機器室



送信アンテナ(サン・クリストバル山)



放送会館の中庭



TVuc 社員のタイムカード

資料3 チリ・カトリック大学に於けるコンピュータ教育と
TELEDUCに於けるCGへの取り組みについて

1982年 DEC-10 導入

1984年 PROYECTO RED PUC……………資料3-1参照

PROYECTO CRISOLスタート

- 現在、計1100のターミナルとパーソナル・コンピュータがあり、そのうち800はマッキントッシュである。またそのうち600は個人的に持っている。
- コンピュータと生徒・先生の合計の比は1対12。
- カトリック大学はUSAのアップルと特別な関係にあり、Macintosh IIを使ったImage Processingの仕事も進行中である。
- TELEDUCではファイナンスからアニメーションまでコンピュータを全てに活用している。

1985年 8ビット機(ATARI 800)での低解像度アニメーション

1986年 コモドール Amigaを使った比較的高度なアニメーション

- TELEDUCの活動の全ての分野でTVucが協力してくれるが、例外はコンピュータ・グラフィックスである。独自で開拓しなければならない。

コモドールAmigaについては資料3-2参照。

PROYECTO RED PUC

network

P : Pontificia
U : Universidad
C : Católica

Pontificia Universidad Católica de Chile
Servicio de Ciencias de la Computación

Pontificia Universidad Católica de Chile

Tamaño: *size*

- 16.500 alumnos *students*
- 1.500 profesores *professor*
- 1.600 administrativos *clerk*

Equipamiento computacional: *equipment*

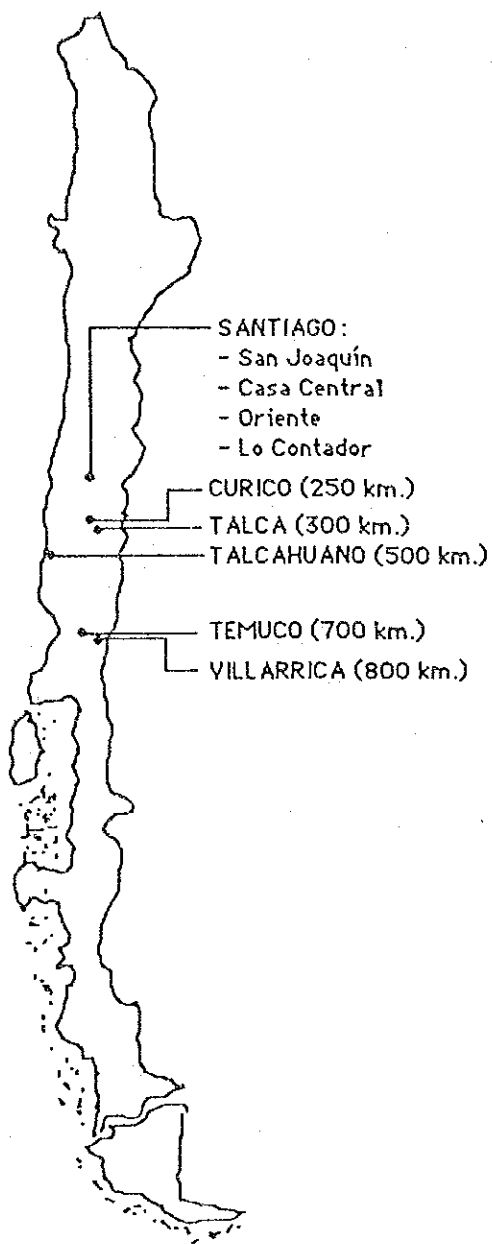
- Aprox. 400 terminales
- Aprox. 400 computadores personales

Pontificia Universidad Católica de Chile

- Distribución Geográfica
- + Santiago
- + Sedes Regionales

Distribución Geográfica

PONTIFICIA UNIVERSIDAD
CATOLICA DE CHILE



Santiago

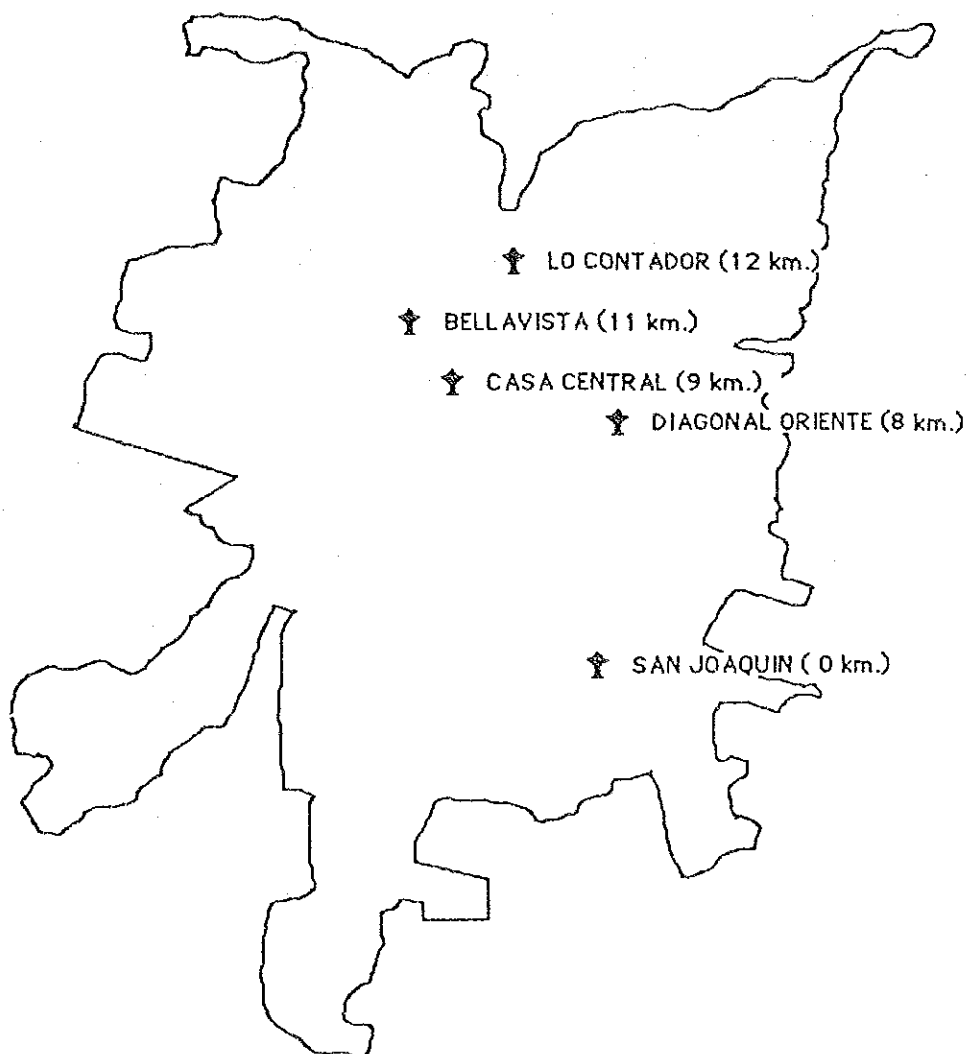
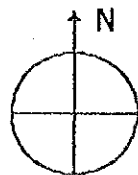
- 70% del alumnado
- 90% del equipamiento computacional

Santiago

- Distribución Geográfica
- + Campus San Joaquín
- Biblioteca Central
- + Campus Casa Central
- + Campus Oriente
- + Campus Lo Contador
- Departamento de Astrofísica

Distribución Geográfica

PONTIFICIA UNIVERSIDAD
CATOLICA DE CHILE



Campus San Joaquín

• 5.400 alumnos

Campus San Joaquín

- SECICO
- Sala CRISOL Olivetti PC (20) *컴퓨터실*
- Sala CRISOL Macintosh (35)
- F. Ciencias Económicas y Administrativas
- Facultad de Agronomía
- + Escuela de Ingeniería

*science economic
administrative*

faculty of agronomy

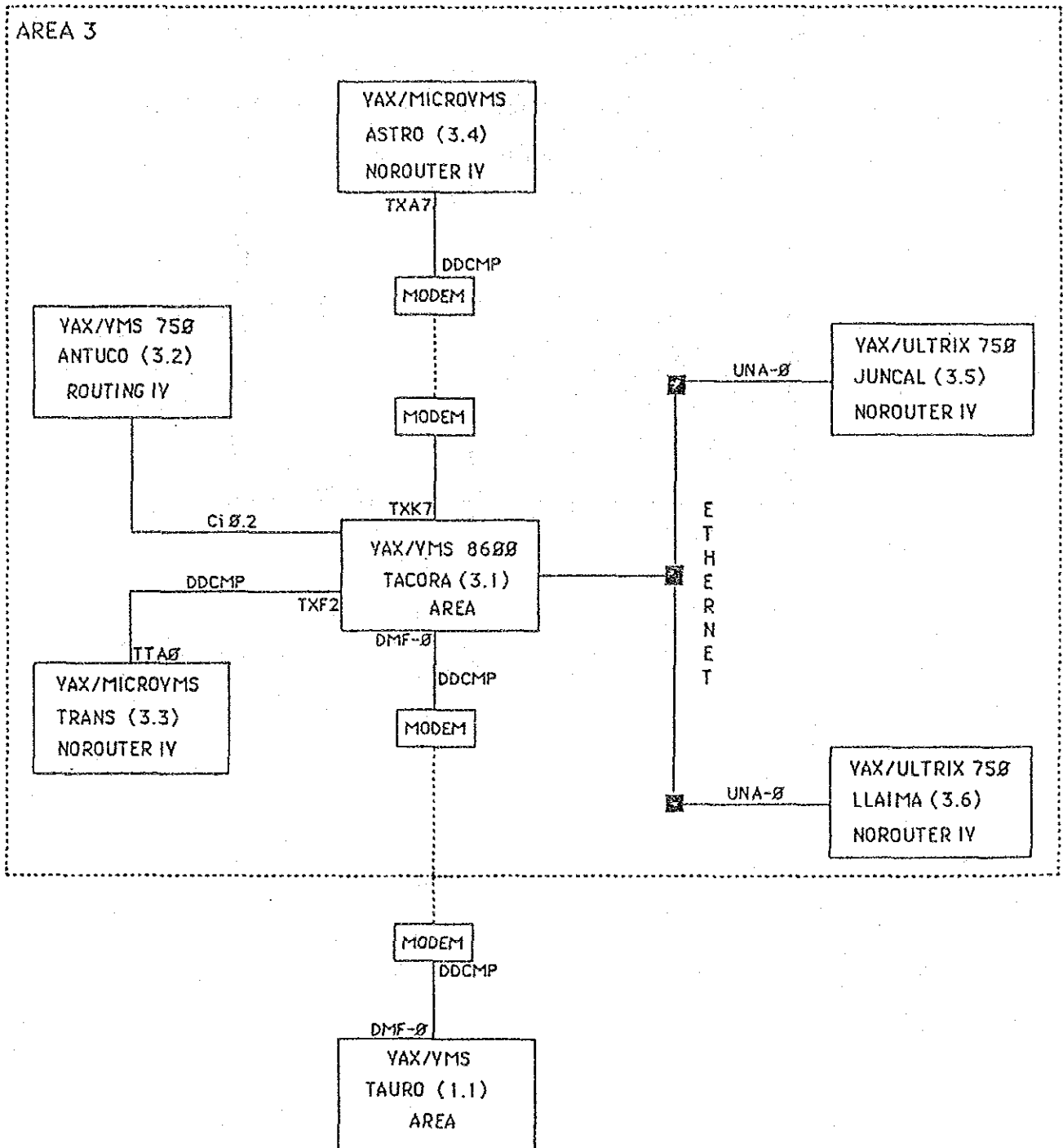
school of engineering

SECICO

Hardware:

- 1 VAX 8600 VMS
- 1 VAX-11/750 VMS
- 2 VAX-11/750 ULTRIX-32
- Ethernet
- VAXcluster con 7 RA81 (3.25 Gb)
- 2 RA81 (0.93 Gb)
- 210 terminales
- 60 computadores personales

RED SECICO



Escuela de Ingeniería

- Computadores personales (50)
- Departamento de Ingeniería de Transporte

Departamento de Ingeniería de Transporte

Hardware:

- 1 MicroVAX II VMS
- Varios comp. pers. y terminales

Facultad de Agronomía

Hardware:

- 1 IBM S/34
- Varios comp. pers. y terminales

F. Ciencias Económicas y Administrativas

Hardware:

- 1 IBM 4331
- 17 terminales
- Aprox. 20 IBM-PC
- Aprox. 40 Macintosh

Biblioteca Central

Hardware:

- 1 Data General MV 4000
- 2 Data General MV 2000
- Varios computadores personales

Campus Casa Central

- 1000 alumnos
- 8 km. de San Joaquín

Campus Casa Central

- Sala CRISOL Macintosh (16)
- Hospital Clínico
- Rectoría y Vicerrectoría Académica
- Vicerrectoría Económica

Hospital Clínico

Hardware:

- 1 VAX-11/750 VMS
- Ethernet
- Aprox. 40 terminales y comp. pers.
- Varios comp. pers. multiusuarios

Rectoría y Vicerrectoría Académica

Hardware:

- 1 Data General MV 8000
- Aprox. 40 terminales
- Aprox. 30 Macintosh

Vicerrectoría Económica

Hardware:

- 2 MicroVAX II VMS
- Ethernet
- Aprox. 30 terminales
- Aprox. 10 Macintosh

Campus Oriente

- 3800 alumnos
- 7 km. de San Joaquín

Campus Oriente

- Sala CRISOL Macintosh (16)

Campus Lo Contador

- 900 alumnos
- 10 km. de San Joaquín

Campus Lo Contador

- Taller de Computación Gráfica - SECICO
- Sala CRISOL Macintosh (11)

taller: works
studio

Departamento de Astrofísica

Hardware:

- 1 MicroVAX II VMS
- Varios terminales y comp. pers.

Sedes Regionales

- Maule
- Curicó
- Talcahuano
- Temuco
- Villarrica

Talcahuano

- 500 km. de Santiago
- 1700 alumnos

Hardware:

- NCR Tower
- Varios terminales y comp. pers.
- Sala Macintosh (11)

Temuco

- 700 km. de Santiago
- 1400 alumnos

Hardware:

- IBM S/36
- Varios terminales y comp. pers.
- Sala Macintosh (11)

Curicó

- 250 km. de Santiago
- 1500 alumnos

Maule

- 300 km. de Santiago
- 750 alumnos

Hardware:

- Varios comp. pers.
- Sala Olivetti PC (6)
- Red local PC

Villarrica

- 800 km. de Santiago
- 170 alumnos

Required Services

- Department level
- School level
- Campus level
- University level

Department level

- Share Peripherals
- Electronic Mail
- File Transfer
- Administrative Tasks

School level

- Access to Host Computers
- Electronic Mail
- Electronic Classrooms
- Administrative Tasks
- Access to Student Records

Campus level

- On-line Bibliographic Search
- Flexible Allocation of Computer Ports
- Sharing of Advanced Equipment
- Electronic Mail
- On-line Access to Central Administration ...
- Connection Between PCs and SECICO's Hosts
- Overcome Unavailability of Telephone Lines

University level

- Generalized Access to SECICO's Hosts
- Electronic Mail
- Access to External Networks
- Linkage of SECICO's Distributed Facilities

(参考)

1. コマーシャル制作とポストプロダクション

TV局はコマーシャル制作に一切タッチせず、全てチリにあるプロダクション・ハウスが制作する。小規模なものを含めると10社以上あり、主にコマーシャル・フィルムを制作している。そのうちビデオ編集機を備えたプロダクションは5～6社あり、そのうち2社を見る機会があったので、紹介する。

PLAZA PRODUCTION HOUSE

SUIZA 2085 PROVIDENCIA
SANTIAGO CHILE

ERNESTOとFELIXのPLAZA兄弟が9年前から共同経営している。5年前からUMATIC、1年前から β CAMを導入し、好評を得ている。ERNESTOが広告代理店との交渉をし、FELIXが技術面をやっている様子。他に従業員数名。小規模ながら、編集室、小スタジオ、中スタジオ、メイクアップルームを持ち、機能的な形態をとっている。

機器構成

EDITOR	BVE-900
SWITCHER	SEG-2550
クロマキー	CRK-2000
VTR β CAM	BVW-15(DT付) BVW-40
3/4	BVU-820(DT付)
ウェーブフォーム	リーダー
モニター	LBO-5860
ベクトルスコープ	無し(予定あり)
音声ミクサ	SONY MX-20 テクニクス SL2000
テープレコーダー	SONY TC-766-2(2トラ38)
アンプ	SONY TA-F30
イコライザ	TEAC CTE-20
カセット	テクニクス RS-B33W

TITULOGRAFICA PRODUCTION HOUSE

Candelaria Goyenechea no 3820

Vitacura Stgo. CHILE

チリで数少ない、2次元・3次元DVEを持つプロダクション。かなり広いスペースの中で、2階吹き抜けのスタジオや美術工房を持ち、美術・テクニクの面で相当凝った画面を制作している。

機器構成

SWITCHER ICI904
2D DVE CIDC ADDA
3D DVE SYSTEM IV
3年前より 米Computer Image Corp.
DGのECLIPSE S/130使用

VTR 1インチ BVH-1100 3台
3/4 VO-5800 2台

その他

カメラ JVC
ウェーブフォーム テクトロ
モニター 529
ベクトルスコープ テクトロ
1420

音声ミクサー Tangent model 802ax

なお、この設備で制作した商業・ビデオを見たが、驚くような凝った画面づくりをしている。DVEとVTRのタイミングはタイムコードではなく、キュートーンによるマニュアル・スタートのようである。

GOVERNMENT STUDIO TELEVISION

PALACIO DE LA MONEDA

MORADE 190

これはプロダクション・ハウスではなく、大統領府が所有するテレビジョン局で1984年から始められた。これは大統領が多数の局を呼んで記者会見をした場合、ON AIRされては困る画面を撮られないために、自局で演説を録画・編集し、TV各局に配布するためにつくられた。

機器構成

EDITOR BVE-800

SWITCHER	SEG - 2000
	BVT - 800
クロマキー	CRK - 2000
	WEX - 200
VTR 3/4	BVU - 800 4台
	VO - 5800
カメラ	BVP - 3A 4台
	(うち2台はENG用)
音声ミクサー	MPX - 21

補記

スタジオ、編集室、メイクアップ・ルームを持ち、また編集室にはコンピュータ端末が備わっており、大統領の過去400時間の行動を検索できるようになっている。

2. TV NACIONAL DE CHILE

Bellavista 0990

Santiago Chile

チリで唯一の国営テレビ局である。ch7とch9を持つ。ch9は7年前に教育テレビジョン計画を大々的にスタートしたが、今は教育テレビジョンとしての存在は無い。設備規模はch13に近いものであったが、設備構成にはなんの統一も無く、新旧入り交じって、非常に複雑な様相であった。VTRは3/4インチが主流で1インチが少数。2インチも2台。報道局は別棟を持ち、中に3/4インチの編集室が多数あり、この点ではch13よりまさるかもしれない。しかし技術部門のVTRは2台1組の専用編集機無し、VTR単体による編集形態であった。

3. TVucに於ける各種VTRの使用状況は下記のとおりである。

3/4インチ

- 1978年のカラー化と同時に導入。
- ほとんどの番組で使用。これが主流。
- 高画質を求めて、UMATIC SPを導入し始めた。

1インチ

- 1980年に最初の1インチを導入した。
- BVH1100 3台 BVH500
- 海外に販売する番組(テレビドラマ、コミック番組)に使用。
 - サバド・ヒガンテ(土曜日の大型視聴者参加番組)の中で、長時間の音楽の部分に使用。

βCAM

- 1982年に導入。
まだβCAMでのENGクルーは存在しない。
- 年6本程度のドキュメンタリー番組制作に使用した実績がある。
このうちmundo (world) ××年という番組ではイペロアメリカ(スペイン政府協賛で、
スペインがアメリカ大陸を発見して500年を記念した大会)で賞を取った。

補記

- 上記のように3/4インチUMATICが主流である。
- 技術協力で供与するポストプロダクション装置にβCAM SP, GVG100, MXP-29
の組み合わせを希望し、しかもコンポーネント方式での編集を希望していることは現地の意
識の高さを示す一方、現状との大きなギャップを感じざるを得ない。
- 今回の技術協力でのコンピュータ・グラフィックス分野ではVTR駒取り装置としてβcam
SPを採用し、ポストプロダクション装置と統一した。

4. チリに於けるビデオ機器の保守について

- チリのプロフェッショナル・ビデオ機器はTV局、プロダクション・ハウスを問わずソニーが
大勢を占めている。

- ソニーはチリに現地法人

Sony Chile Ltda.

Carlos Antunez 1934

Casilla 280 Stgo. 1

Santiago Chile

を持っているが、ここは民生品のみを扱っている。

- プロ用ビデオ機器の販売は、

VIDEOCORP Ltda.

Avda. Suecia 659

Santiago Chile

が担当しており、プロ用ビデオ機器のメンテナンスは、

RIOS Y CIA. LTDA.

が担当している。リオスはVIDEOCORPと同じ建物の中で仕事をしており、メンテナン
ス技術も南米一の實力を持つということである。

5. チリに於ける映像特殊効果装置(DVE)とコンピュータ・グラフィックス装置(CG)の
 配備状況

まだ数は少ないが確実に導入されつつある。

	名 称	DVE	CG
放送局	TVUC	NEC DVE2	
	TVNC	ADDA	
プロダクション ハウス	TEKNOS	AMPEX ADO	
	VISUAL	AMPEX ADO	CUBICOMP PICTURE MAKER
	TVCINE	ADDA	
	TITULO GRAFICA	(2D)ADDA (3D) COMPUTER IMAGE CORP SYSTEM IV	

◦上記で見るようにTVucには映像特殊効果装置(2次元DVE)はあるが、CG装置はない。

DVEはニュースの中で画面転換によく使用している。

番組のプレゼンテーションのため、特別な効果を要求されるとき、年に数度外部プロダクションのDVE、CGを使うことがある。まれに米国のプロダクションに番組タイトル制作を依頼することがある。

CARACTERISTICAS DEL COMPUTADOR COMMODORE "AMIGA"

- Este computador parte con 256 K RAM y se puede expandir a 512 KB en forma interna y 8 M bytes externos (memoria real). Su capacidad en memoria secundaria podría llegar hasta 40 M bytes.
- 3 Microprocesadores permiten trabajar gráficos, sonido y animación, más el procesador MC 68000 de la Motorola, cuya velocidad de proceso es de 7.16 Mhz
- Capacidad multitarea.
- 4 Canales de sonido, un sintetizador de voz ecualizada y 9 octavas.

Probablemente lo más importante que posee el computador AMIGA, es el hecho de trabajar con 4096 colores; su capacidad de resolución en pantalla que llega hasta 640 x 400 pixels; su alta capacidad en formateo de disco (880 K bytes); el manejo de 4 instrumentos musicales a la vez; su capacidad de convertirse en un PC compatible a través del programa Transformer, el cual hace que en este mismo computador se ejecuten los mismos programas que podrían correr en un PC tradicional o standard.

En general, la digitalización de imágenes a través de la interfaz Digiview y la mezcla y sincronización de estas a través de la interfaz Genlock, hacen de este computador, una máquina perfectamente adecuada para utilización en video y televisión.

El computador, monitor, diskettera y mouse, tiene un valor de US\$ 2.490 + IVA (equivalente en moneda nacional) y trae diskettes y set de manuales básicos, más un paquete de programa de aplicaciones de regalo.

MEMORY

- 256K Bytes RAM standard
- User expandable to 512K Bytes RAM Internally
- Externally expandable to eight megabytes continuous RAM
- 256K Bytes Writable Control Store

MAIN PROCESSOR

- MC68000
- 32 Bit internal bus
- 16 Bit data bus
- 7.16 MHz clock speed

THREE CUSTOM VLSI CHIPS: CUSTOM GRAPHICS CHIP

- Many different resolutions—320x200 32 colors, 320x400 32 colors, 640x200 16 colors and 640x400 16 colors
- Color palette of 4,096 colors
- Eight, re-usable, 16-bit wide sprites
- 60/80 column colored text
- Programmable interobject priority and collision detection
- Compatible with RGB analog monitors, NTSC composite monitors and home televisions

CUSTOM ANIMATION CHIP

- Utilizes a bit-blitter for high speed movement of graphical data
- Allows high speed animation
- Frees the CPU for other concurrent tasks
- Display synchronized coprocessor
- Controls 26 DMA (direct memory access) channels

CUSTOM SOUND/PERIPHERALS CHIP

- Four voices of sound output as two channels
- 9 octaves
- Complex waveforms allow high quality speech and musical instrument synthesis
- Uses both amplitude and frequency modulation
- I/O controls for disk data and mouse/joystick controller ports
- Allows the disk and sound to operate with minimal CPU intervention

OPERATING SYSTEM

- AmigaDOS
- Multi-tasking
- Hierarchical file system allows fast file access and hard disk compatibility

USER INTERFACE

- "Intuition"
- Pull down menus
- Mouse or keyboard controlled
- Color
- Up to 50 overlapping windows, each running simultaneously in real time
- Features the "Workbench" iconic user interface
- Also features a Command Line Interface (CLI)

PREFERENCES

- User selectable background and character colors, keystroke speed, mouse speed, mouse pointer editor and font size
- Peripheral parameters for printers and modems

KEYBOARD

- Detachable, full-size typewriter style
- 89 keys total
- 13 Key numeric keypad
- 10 programmable function keys
- 2 special function keys
- 4 directional cursor keys
- HELP key

DISK DRIVE

- 3.5" Micro floppy disk drive
- Double sided double density
- 880K Bytes formatted storage capacity
- Maximum transfer rate of 250 kilo bits per second
- DMA controlled read and write for fast disk access

MOUSE

- Two button optomechanical
- Eliminates the need to learn commands
- Works well on any surface

AUDIO OUTPUT

- Two RCA audio output jacks
- Signal to noise ratio 70db
- Distortion less than 1%
- Frequency response 20-6,000Hz
- Impedance 300 ohms

INPUT/OUTPUT

- Analog RGB video port
- RF modulator video port for home television
- NTSC composite video port
- Two reconfigurable controller ports (supports mouse, joysticks, paddles, light pens and custom controllers)

- External floppy disk port
- RS232 serial port
- Reconfigurable Centronics parallel port
- Expansion port
- RAM Expansion port
- Keyboard connector

BUNDLED SOFTWARE

- AmigaDOS
- Amiga BASIC
- Amiga Tutorial
- Kaleidoscope
- Voice Synthesis Library

WEIGHT

- Approximately 13 lbs.

DIMENSIONS

- 4.25" x 17.75" x 13" (H x W x D)

POWER REQUIREMENTS

- 120V, 90 Watts, 60Hz, 1A nominal

RECOMMENDED

PERIPHERALS

- 1080 Amiga Monitor
- 1010 External 3.5" Disk Drive
- 1020 External 5.25" Disk Drive
- 1050 Memory Expansion Cartridge
- 1680 Modem 1200 RS*
- 1025 AmigaTransformer*
- 3406 RF Modulator
- 1300 Genlock Interface*
- 1100 AnswerMate*

COLOR

Standard Amiga Light Beige

Specifications subject to change without notice.

Amiga is a trademark of Commodore-Amiga Inc. Macintosh is a registered trademark of Apple Computer, Inc.

IHM is a registered trademark of International Business Machines Corp.

*Soon to be available.

資料 4

調査・研究分野においてTELE EDUCに提供済みの英文資料一覧

1. "STUDIES ON ADULT LEARNING THROUGH TV AND RADIO COURSE PROGRAMS" by H.Fujioka
2. "ADULT LEARNING IN JAPAN (excerpts)" 1987.
3. "Course Programs and Adult Learning in Japan" by H.Fujioka.
4. "CHILDREN AND TELEVISION—Main Findings from Shizuoka Survey (in 1967)"
5. "Views of the Japanese Youths towards Television" by Y.Muramatsu.
6. "A Research into Information Needs" by H.Yonezawa.
7. "STUDIES OF BROADCASTING" Mar. 1987, No.23.
8. "A GUIDE TO THE NHK PUBLIC OPINION RESEARCH INSTITUTE"
9. "SURVEY AND STUDY OF EDUCATIONAL BROADCASTS (1960~1968)"
10. "TELEVISION AND CHILDREN'S LIFE" by T.Furu,1962.
11. "Research on School Television in Japan (1953~1983)" by T.Akiyama.
12. "Trends in Research on Japan's Educational Broadcasts" by T.Akiyama.
13. "The Role of Educational Broadcasts in Japanese Schools (2nd ed.)" by T.Akiyama & S.Kodaira.
14. "Children and Television:A Study of New TV Programs for Children Based on the Pilot of an Animated Production" by T.Akiyama & S.Kodaira,1987.
15. "TELEVISION'S ROLE IN EARLY CHILDHOOD EDUCATION IN JAPAN" by S.Kodaira,1987.
16. "Television for Children in Japan : Trends and Studies" by S.Kodaira,1986.
17. "Changes in Mass Media Contact Times—Analysis of Results of National Time Use Survey—" by N.Nakanishi,1982.
18. "JAPANESE TIME USE IN 1985" by N.Nakanishi & Y.Suzuki,1986.
19. "Television Stereotypes of Three Nations—Interim Report—" by K.Kawatake et. al.
20. "NATIONAL INSTITUTE OF MULTI MEDIA EDUCATION 1986"
21. "THE UNIVERSITY OF THE AIR 1986"

JICA